資料2

市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画素案に関する意見書（案）

1 市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画素案に関する事項

【学生ワークショップ】

- 学生ワークショップには 44 名が参加し、周南公立大学、徳山高専、徳山高校、新南陽高校、徳山商工高校、桜ヶ丘高校、光高校、熊毛北高校など多様な属性の若者が含まれている。これは貴重な意見であり、男女比や参加者の所属校・大学などの記録を残していただきたい。

【基本理念】

- 今回の学生ワークショップでは「成長」をテーマに議論が行われ、このような学校の枠を超えて誰もが受け入れられるサードプレイス的な場が必要である。
- 市民活動の後継者不足が進む中、この施設整備が市民活動の支援につながるという視点を加えていただきたい。
- 子育てや子どもの居場所などの日常的な活動で市全域から中心市街地に集まることは難しいため、中心市街地に整備予定のこの施設での活動がモデルケースとなり、周辺地域でも模倣可能な形にするとともに、この施設を拠点とした周辺部へのアウトリーチのための基地としての機能を持たせることを検討していただきたい。

【施設機能】

- 練習室、研修室、会議室が現状足りないため、計画に盛り込んでいただきたい。特にギャラリーが不足している。にぎわいの創出のためにも非常に有効な手段であり、立派な美術館でなくとも、ものを見る空間をいかに演出できるかという視点でのギャラリーづくりが必要だと考える。
- 家族で行けば、子育て・交流・創作など、求めるものが異なっても複合的に楽しめるよう、部門が分断されないような重ね使いや共用ができると良い。

【文化小ホール機能】

- 席数について、500 席の場合は集客イベントが想定されるため、仕様もしっかりした舞台で使いたい人が増えると考える。一方、300 席では発表会的な利用が増えると考える。
- 500 席ホール設置によって文化会館の稼働率が低下する恐れがあるため、小ホールの役割や拠点としての位置づけを明確にする必要がある。
- ホール単体というよりは、文化会館と文化小ホールの２つのホールをどう生かしていくか、近い関係の中でまちづくりの観点からどう考えていくかが重要である。
- 市内の類似施設との差別化を図るため、立地やコンセプトだけでなく、機能面で明確に区別した方が良い。

【駐車場】

- 駐車場は敷地を圧迫するため、一定の抑制が望ましいと考える。利用者には他の交通手段の利用も検討してもらう必要がある。

【動線の検討】

- エリア内の歩行者の安全確保が重要であり、搬入トラックの経路確保も含め十分に検討していただきたい。
- 児玉町線の交通処理は重要であり、公園との連続性を考慮すると歩行者横断の可能性も踏まえて動線を検討いただきたい。
- 現状の御幸通は、目的がある人は通ると思うが、地域との連携を図るのは難しいと考える。そのため、駅からの動線も含めて検討いただきたい。

2 施設整備に係る今後の検討事項

【設計】

- ホワイエは固定したものとして考えず、エリアを区切ることによって運用面で対応するといったことも含めて考える必要がある。
- 近年はわずかな段差でも負担に感じる方が増えているため、こども連れや高齢者も訪れることを想定し、バリアフリーに十分配慮いただきたい。

【施設整備に係るソフト事業】

- 施設整備だけでなく、文化振興のキープレイヤーを育成する取り組みも重要である。市民ワークショップ等を通じて市民が文化振興を自分事として捉えられる仕組みづくりを検討していただきたい。
- 整備期間が長期にわたるため、その期間内に、文化政策としてどういったことができるのか検討していただきたい。ホールがその手段として位置づけられると良い。

【施設運営】

- 施設整備前の早い段階から施設に愛着を持ってもらう方法を検討していただきたい。

【誰もが使える施設となること】

- 様々な障がいを持つこどもも含め、すべての人が健やかに暮らせるよう、平等な利用機会の提供に努めていただきたい。

市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議　開催実績

○第１回：令和８年３月 11 日（水）

議題

⑴ これまでの検討経緯

⑵ スケジュール

⑶ 市民館跡地エリア整備の基本的な考え方について

○第２回：令和８年５月 13 日（水）

議題

⑴ 市民意見聴取結果の共有

⑵ 必要な施設機能および構成について

⑶ 配置・整備パターン

○第３回：令和８年７月 21 日（火）

議題

⑴ 市民意見聴取結果の共有

⑵ 配置計画の考え方

⑶ 事業方針

⑷ 施設運営の考え方

○第４回：令和８年９月 24 日（木）

議題

⑴ 市民意見聴取結果の共有

⑵ 事業手法の検討および整備スケジュール

⑶ 概算工事費の算出

○第５回：令和８年 10 月 27 日（火）

議題

⑴ 市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画素案について

⑵ 市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画素案に関する意見書（案）

⑶ 今後のスケジュール(案)

市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議　委員名簿

役職	団体名等	氏名
会長	山口大学大学院　創成科学研究科　教授	榊原 弘之
副会長	徳山工業高等専門学校 土木建築工学科　准教授	河野 拓也
	周南公立大学　人間健康科学部　教授	鶴田 来美
	周南公立大学　経済経営学部　講師	稲垣 円
	周南文化協会　会長	西﨑 博史
	公益財団法人周南市文化振興財団　事務局長	松本 久美子
	山口県桜ケ丘高等学校　教諭	桐生 智晃
	周南市中学校文化連盟（須々万中学校　教頭）	山本 佐智子
	周南地域子ども応援連絡協議会　事務局長	原田 宗隆
	音楽プロデューサー	児玉 真